

若浜の子ども



令和2年4月20日 第2号

学校再開に向けての準備



<1学期スタンバイ 4/19の教室風景>

今日は3月3日の臨時休業以来、7週間ぶりの授業日となりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、また明日から5月10日（日）まで再度臨時休業となります。子どもたちは最初の1週間くらいは予想外の休みで喜んでいただかかもしれませんが、新型コロナウイルスへの危機感と身動き取れない休みとの狭間で、なんとなく重苦しい気持ちになっているものと思います。

学校では、学校再開後の感染予防対策、臨時休業分の課題作成と点検などとともに、臨時休業で失われた約90時間の授業の挽回策、年間指導計画の再検討を行っております。

若浜小学校の今年度の授業日数は、207日（1年生は206日）を予定していましたが、5月10日までの臨時休業で20日を失い187日で勝負することになりました。このことは、私たち同様保護者の皆様も、「今年度の学習を予定通りできるのか？」と心配されていると思いますが、今回の臨時休業で収まれば、1週間以内の夏休みの短縮で予定の時間数に対して1学期末時点で-30～35時間程度、年間では-5～10時間程度まで挽回できる見通しです。その時間捻出の根拠は、6時間授業の回数増、4時間上がりの削減（家庭訪問、通知票配付、職員の研修等）、地区運動会やふるさと休日、各種行事の中止や縮小等によるものです。

学校再開後最も重要な感染拡大防止については、児童下校後の教室や遊具等の消毒・除菌を毎日実施するとともに、修学旅行、体育や音楽、家庭科等における学習内容に応じた時期の変更など、授業の実施と安全面の両面から配慮してまいります。学校再開後も、メールによるお願いや予定変更があるかもしれませんが、これまで同様ご理解とご協力をお願いいたします。

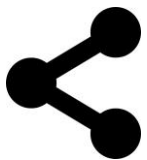
学校再開後の学習に備えて

今回の課題には、1学期の学習内容が含まれていますが、漢字練習や教科書の音読など自学自習がしやすいもの、前年度までの学習をもとに自力でできるものを計画・準備しました。

しかし、そうはいつでもわからないところ、できないところがあるかもしれません。そんな時には、学校にFAX（26-8645）やメール（mirakuruwakakko@gmail.com、児童会のスロージョーガンに合わせ mirakuru にしています）でお問い合わせください。これは、今回の臨時休業のため新規にとったアカウントですので、通常の学校業務とは切り離されています。質問は文章だけでなく、写真で送っていただいても結構です。音読をがんばった成果として、音読したデータを送って担任から聞いてもらうのもいいと思います。また、学校へのお手紙もOKです。

テレビ会議システムのようにはいきませんが、学びのツール、学校と子どものコミュニケーションツールとしてスマホやパソコンの活用をご検討ください。

<スマホやタブレットから音声や画像を送るときは…>



私は、スマホは苦手なので、いろいろなアプリの操作については説明できませんが、音声や写真を送るときは、基本的に記録したデータファイルが表示されている画面から共有のアイコン（左の絵）を見つけて送信先を指定すればいいようです。

<先取りの学習（予習）>

先取りの学習にインターネットのコンテンツを使うのもいいと思いますが、まず基本は教科書です。学校が始まってから授業がよくわかって、手を挙げて答えて、テストもばっちりのためには、地味ですが教科書を読んだり、問題を解いたりして、「わかるところとわからないところを区別し、見通しを持つこと」が基本です。習っていないところをやるのですから、わからないのは当たり前。「わからないところを解決しよう。」そう思うだけでも5月11日からのスタートの勢いが違います。

学校から出された課題も楽勝、教科書の勉強も終わってしまったら、NHK for School の社会や理科の番組がいいと思います。（若浜小学校のリンク集にあります）また、YouTube の「学研まんが NEW 日本の歴史&伝記 名シーン動画」は6年生だけでなく歴史に関心のある子なら4年生くらいから楽しみながら学べるチャンネルです。このチャンネルに関連している様々な歴史チャンネルまで見ると、中学生レベルまで行きそうです。

<歌で癒されたい子ども、いや大人におすすめ>

YouTube で「鶴真衣」（つぐみまい）と検索してみてください。東京オリンピックで君が代を歌わせたいというほどの人も少なくないようです。（私も時々聞いています。）